

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名【新】防災交流センター設備改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 地域支援係 電話番号：058-272-1111(内2843)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,291 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	6,291	0	0	0	0	0	0	0	6,291
決定額	6,291	0	0	0	0	0	0	6,100	191

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

防災交流センターに設置した非常用発電設備について、危険物の一般取扱所とするために必要となる改修等を実施するもの。

(2) 事業内容

下記の改修等を実施する。

【改修等内容】

- ・ダクトへの防火ダンパー設置
- ・防火扉の改修
- ・消火設備(大型消火器)の整備

(3) 県負担・補助率の考え方

県有施設であり全額県負担で実施することが適当

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費		
旅費		
需用費	6,175	別添積算書のとおり（細節は修繕料）
役務費		
委託料		
工事請負費		
補助金		
備品購入費	116	粉末（ABC）蓄圧式消火器 YA-50XIV 1本×115,500円
合計	6,291	

決定額の考え方

財源には県債を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県業務継続計画<地震等災害編>で「県庁が被災した場合のサブ指令センターである「県防災交流センター」に災害対策本部指揮所機能を設置する。」旨を規定

(2) 国・他県の状況

—

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

県有施設のため県が必要な改修を実施する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和8年度に改修工事を実施し、当該年度中に必要な設備の設置を行い、危険物の一般取扱所として許可を取得する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

設備改修等のため

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和6年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)
3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)
2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

平成11年の設置より26年が経過し設備等の老朽化が進んでいるため適切に改修を実施していく必要がある。

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

来年度に改修を終えるため単年度で終了する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】